



MESHSTATSアプリケーションアイデアソン2025

メッシュデータでどう表現できるか？
移動 × MESHSTATS



事業統括本部 地理空間ユニット ロケーションサービス部 プラットフォームG
人流解析チームリーダー 兼 DX国土強靱化推進室 技術担当課長

渡邊 剛史(Tsuyoshi Watanabe)

2025.1

国際航業(株)と私の仕事



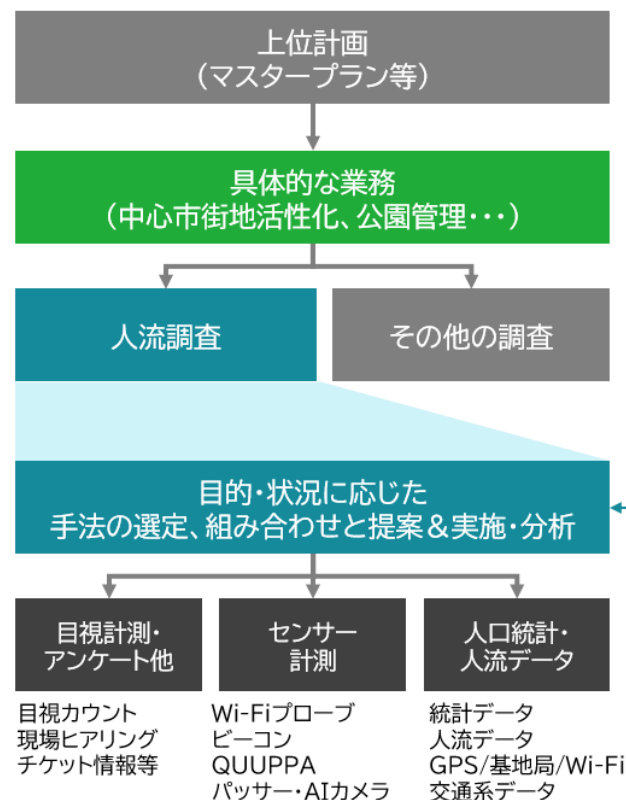
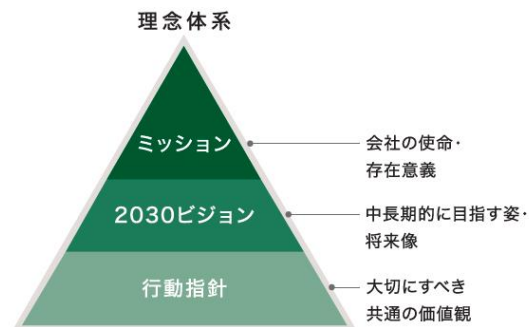
ミッション 使命

空間情報で
未来に引き継ぐ
世界をつくる

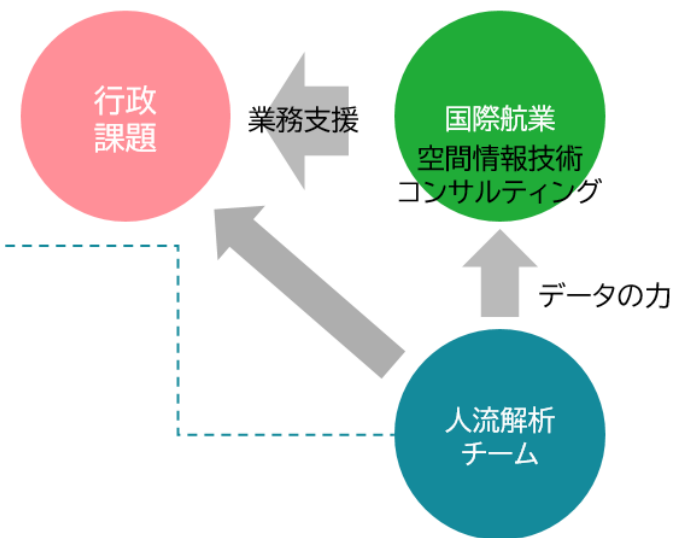
国際航業は、データ取得、解析、分析等の空間計測とデータの利活用、計画、設計等のコンサルティングを両輪として、創業以来70余年にわたり“はかる”技術を進化させ続けてきました。

この“はかる”技術をコアとした当社のサービス・商品により、公共インフラ整備を主体とした行政支援、防災・減災対策、気候変動対策などの事業を展開し、社会に貢献してまいりました。

当社は、地球を構成する一員として、地球規模の社会課題を自ら主体的に解決し、持続可能な地球、社会、暮らしを未来の世代に引き継ぐことが使命であると考えます。そして、日々の企業活動や事業活動において研鑽を積み、新しい取り組みに挑戦し、技術・ノウハウ・実績の承継を絶え間なく続けることで、使命を果たしてまいります。



“人流事業”、“人流業務”はない。
“人流を活かせる業務”はある。



テーマ選定の背景



ご存じの通り、メッシュデータはある数値の大小をいくつかの濃淡に分けて色を塗って表現されることが多いです。

その際、読み込むデータは

メッシュ番号、数値

の2つがあれば、表現できます。

でも、私の仕事は「人流」です。

- ここにいた人が、ここにこれだけの量、移動していました。
- 朝はこんな場所に人が多く、夜はこんな場所に人が多かったです。

こういったものを地図上に表現したいと思っています。



今回のテーマ「移動をどうやってメッシュデータで表現するか？」

これまで、いろんな方法でこの移動表現を試みてきましたがなかなか良いものはありません。

※アイデアの幅を狭めてしまうので、ここに過去の事例は載せません。

そこでお題は、次のようなものを考えていただきたいと思います。

- ①メッシュの地図上における分かりやすい表現イメージ(絵)
- ②その絵を作るにはどういうデータを読み込めばいいか？(読み込むデータフォーマットや必要な項目)

ヒント

- ・移動というのは時間軸が伴います。
- ・2次元の地図でどうやってこれまで以上の次元数のデータを表現しうるのか？
- ・メッシュ間の移動をどのように表すのか？



移動を制する者はメッシュを制する！

皆様のアイデアお待ちしております。



情報をつなげる力で、
人・社会・地球の未来をデザインする

